

○司会 それでは本日のヒアリングを初めさせていただきます。

最初は東京港運協会の皆様でいらっしゃいます。

（東京港運協会 入室）

○司会 ありがとうございます。係員がお席までご案内いたします。

それでは早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 港運協会として初めてお越しいただきました。よろしくお願い申し上げます。

東京都の施策に対しましてのご理解・ご協力、ありがとうございます。また、我が国にとりましての物流拠点であります東京港の一層の発展に向けまして、港内の各事業者の皆様方と連携する取組み、また政策提言等を行っていただいているところでございますが、現場の実態に一番お詳しい皆様方からご意見・ご要望を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは都政へのご要望をぜひともお聞かせいただきますよう、お願いいたします。

○東京港運協会（鶴岡会長） それではまず初めに、この度は議会におきまして東京港の機能強化について所信を表明していただきまして、本当にありがとうございます。我々も心強い限りですので、今後ともぜひともよろしくお願いしたいと思います。

さて東京港ですが、ご存知のとおり日本で一番コンテナを取り扱っていると。比較で言えば横浜港の約倍です。そのぐらいの東京港。首都圏4,000万人、及び東日本の経済・生活を支えている重要な港だと思っております。

また、世界中を見まして首都に港があるというのは東京だけなんですね。シンガポールは別ですけども、主要国でも首都に港があるというのは東京だけでございます。

またもう1点は日本の中でも都道府県レベルで港を管理しているのも東京だけでございます。これはもうありがたい限りで、本当に日常的にも感謝申し上げます。

ただ非常に残念なことが一つ。東京港、東京の港というものが都民の方に周知されていない。これはもう現在でも約8割の方が知らない。東京の港ってどこって聞くと横浜港なんです。

これは本当に我々東京で仕事させていただく立場としては残念な限りでございまして、ただ今回の知事の所信表明も含めて、また港湾局の方に東京の港ってどこってという小紙を作っていただいて、これのおかげでようやく我々の従業員もお父さんがどこで働いて何しているか、やっと分かった次第でございます。ぜひともこの東京港の認知度を上げていきたいと我々は思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

さて、この度悲願であった大井ふ頭の再編がようやく動き出した。これは本当に感謝申し上げます。東京港の半数を大井ふ頭が取り扱っておりますので、非常に重要なふ頭でござ

ざいます。

再編するにあたって私ども協会としても、今後とも真摯に取り組んでまいります。本日は貴重な機会をいただいているので、特に今後のふ頭の整備に関係した３点についてお願いしたい、ご要望したいと思っております。

まず１点目としては、欧米・アジア等、海外主要港における最先端のコンテナターミナルを見据え、東京港のＤＸ・ＧＸを強力に推進していただきたいと思っております。

２点目としては、大井ふ頭の再編整備を速やかに完了していただくとともに、世界水準の効率的なターミナル運営を実現するため、再編整備と併せてコンテナターミナルの拡張整備を進めていただきたいと思っております。

そして最後に３点目として、大井ふ頭の再編整備を着実に進めるためにも、その端緒となる中央防波堤外側コンテナふ頭Ｙ３を早期に完成していただきたいと思っております。

すいません、要望書にはございませんが、もう１点だけ私から。この機能充実を図るとともに、ぜひともこの大井ふ頭再編においては、知事もおっしゃっているＨＴＴの特にＴＴの部分、太陽光クリーンエネルギーを大幅に取り入れて、なおかつ貯蓄し、本当の意味でのクリーンな港というイメージをぜひとも実現していただきたいと。

我々の願いとしては選ばれる港ではなく、選ばざるを得なくなる港として東京港をしていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

小池知事をはじめ、都庁の皆様にご理解とご協力をいただきまして、東京港のより一層の機能強化を早期に実現できるよう、ひとかたならぬご尽力を賜ればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 どうもありがとうございました。

それではまず、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 主に３点というご要望でございました。まず１番目のＤＸ・ＧＸの推進という点でございますが、物流の拠点である東京港でコンテナターミナルの処理能力を向上したり、また脱炭素化の実現に向けました取組みは重要と考えております。

ヤードクレーンの遠隔操作化、また燃料電池への交換が可能なヤードクレーンの導入を促進する等、都といたしまして民間の事業者に対しての様々な支援策を講じているところでございます。

国際競争力の強化に向けまして、今後の中央防波堤の外側コンテナふ頭の整備、また大井ふ頭の再編にあたりましてはＤＸ・ＧＸを一層推進していく考えでございます。

その他ご要望については担当局の方からお答えさせていただきます。

○司会 松川港湾局長、お願いいたします。

○港湾局 大井ふ頭の再編整備につきましては、ご要望の点も含めまして、現在、借受者と関係者の皆様と具体的な検討を進めているところでございます。

また、中央防波堤外側コンテナふ頭Ｙ３は大井ふ頭の再編整備を実現するためにも、早期の事業完了が不可欠だと認識しております。

都は着実に整備を進めますとともに、様々な機会を捉えまして国に対して必要な財源措置を要請してまいります。引き続き東京港運協会の皆様と連携し、東京港の発展に努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会 会長からお話いただきましたご要望の点につきまして、東京都としてお答えをさせていただきました。いずれにしても具体的な内容につきましては、これから進めます来年度の予算編成の中で検討をしてまいりたいというふうに考えてございます。よろしゅうございますか。ありがとうございます。

それではこれもちまして、ヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（東京港運協会 退室）

○司会 続きまして、東京都町会連合会の皆様でいらっしゃいます。

（東京都町会連合会 入室）

○司会 ありがとうございます。係員がご案内させていただきます。お席までお進みいただきますよう、お願いいたします。

それでは早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 皆様、こんにちは。コロナの時もオンラインで会議されたりと、町会連合会の皆様方、いつもいろんな工夫をされておられます。敬意表したいと思います。

今日は地域の屋台骨、共助の中心でご活動しておられます、また防災・防犯・高齢者の見守り等々、さらに多岐に渡る活動を続けておられる皆様方から、現場の声を直接伺わせていただきたいと思いますので、ご意見・ご要望、よろしくお願い申し上げます。

○司会 それでは都政へのご要望をぜひともお聞かせいただきますよう、お願いいたします。

○東京都町会連合会（吉成会長） 東京都町会連合会会長の中野区の吉成でございます。日頃より東京都町会連合会の活動にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

東京都におかれましては、町会・自治会に対し手厚い支援をいただいているところですが、東京都町会連合会及び町会・自治会の活動実績を十分に評価していただき、要望事項に対して特段の配慮とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日の出席者でございますが、自己紹介をさせていただきます。

○東京都町会連合会（加藤副会長） 練馬区の加藤政春でございます。副会長の加藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○東京都町会連合会（小林副会長） 渋谷区の小林です。よろしくお願いいたします。

○東京都町会連合会（吉成会長） それでは具体的な要望を加藤副会長よりご説明いたします。

○東京都町会連合会（加藤副会長） それでは私のほうから要望書の内容について、簡単にご説明させていただきます。お手元の要望書をご覧ください。大項目の1番から9番まで、全7ページに渡って要望を記載しております。

東京都町会連合会では1ページから2ページにかけて要望しております。1、町会・自治会および連合会組織等への補助・支援制度に関する要望について、特段のご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

多くの町会で困っている重要な課題として、加入者減少、加入率の低下といったことがあります。町会・自治会活動の必要性や、活動紹介の広報活動、加入促進のための催しやキャンペーン等を全都に取り組んでいただきたいと思います。

また、東京都町会連合会の組織強化のため、未加入の市区町村連合会への取組み並びに東京都町会連合会の事務局機能へのサポート等、東京都としてさらなる支援をお願いしたいと思います。

さらに地域の底力発展事業助成をはじめとした町会・自治会への既存の助成金については、今後も継続をお願いするとともに、地域防災力の強化に向けた防災活動への支援や、町会活動のデジタル化に向けたさらなる支援をご検討いただきたいと思います。

その他、道路整備・交通対策について等の要望を挙げています。後ほどお読みいただきたいと思います。以上、よろしく願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

それではまず、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 冒頭にご挨拶で述べさせていただきましたように、町会の皆様方は防犯・防災、そして高齢者の見守り等、都民生活の安全・安心の確保のために魅力ある地域づくりも含めて、大きな役割を果たしていただいております。

そして今年度、地域活動に対する助成事業におきまして、昨年度に比べまして1.7倍の申込みをいただく等、コロナ禍を経まして地域の賑わいが戻りつつあることを、これが示しているのではないかと思います。

また、マンションとの合同防災訓練等を通じまして、古くからの街並みにボコーンと新しいマンション等が建ちますとなかなか連携がうまくいかない時もあるかと。そこを防災という観点からも連携されるようにということでの工夫でございます。合同防災訓練等を通じて、地域のつながり等にも取り組んでいただいているところでございます。

これからも地域の要であります町会・自治会の活動、後押しをしてまいります。そして地域コミュニティの活性化に向けても、支援をしていく考えでございます。

その他ご要望ございますので、担当局のほうからお答えさせていただきます。私から以上です。

○司会 古屋生活文化スポーツ局長、お願いいたします。

○生活文化スポーツ局 日頃から当局の事業はもちろんのことでございますが、東京都の施策全般に渡って様々な具体的なご協力をいただいております。改めて御礼申し上げます。

す。

昨年度から夏祭りですとか盆踊りといったイベントが地域でも再開されるようになってきて、町会自治会の活動が活発化してきているというふうに認識してございます。東京都といたしましても、町会・自治会の活動が着実なものになるようにご支援申し上げていきたいと考えております。

地域の底力発展事業助成に関しまして、地域の課題を解決するために寄与しているということで、事業の継続をご要望いただいているところでございます。

都はこれまで地域の防災力強化ですとか、デジタル活用が進むようにご支援してきたところでございまして、町会・自治会の活動がより活性化するように、制度を適切に運用してまいりたいと考えてございます。

今後も各種助成等を通じて、町会・自治会の活動を活性化させ、加入の促進にもつながりますよう、しっかりとサポートさせていただきたいと考えてございます。引き続きよろしく願い申し上げます。

○司会 お話いただいた点につきまして、東京都としてお答えをさせていただきました。そして具体的なお要望をちょうだいしております。その中身につきましては、これから来年度の予算編成を進めてまいりますので、そのプロセスの中で具体的に詰めてまいりたいと思っております。以上でございます。よろしゅうございますか。

○東京都町会連合会（吉成会長） 心強く思いました。今、応援していただけるということがはっきりして、皆さん本当にコロナが終わってから活発な活動をされていますので、やはり去年ですか、関東大震災100年というところで、大きな支援をいただいて、皆さんそういう防災についてのことに、本当に皆ありがたく使わせていただいて、これからはぜひともこの防災についてはしっかり我々もやっていかななくてはいけないというところはあると思いますので、これからはどんどんお願いしたいなと思っております。よろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

それではこれもちまして、ヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

○東京都町会連合会 あ、そうですね。火事がね、今、消防庁の方からもお話が来て、今、昨日……。かしこまりました。はい、どうも。

○東京都町会連合会 火の用心は今年からまた拍子木を叩いてね、回ろうという。昔馴染みのやろうとしておりますので、新しい人も若い人も加わってね、やっていきたいと思っておりますので、いろいろありがとうございます。ご支援、よろしくお願いします。

（東京都町会連合会 退室）

○司会 続きまして、東京都社会福祉協議会（東京都高齢者福祉施設協議会）の皆様でいらっしゃいます。

（東京都社会福祉協議会（東京都高齢者福祉施設協議会） 入室）

○司会 ありがとうございます。係員がご案内いたします。お席にお進みいただきますよう、お願いいたします。

それでは早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 こんにちは。田中会長をはじめとする東京都社会福祉協議会の皆様方にお越しいただいております。日頃から都政へのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。

また、高齢者人口が増加し続ける中で、高齢者福祉の発展、そして福祉サービスの質の向上を目指して高齢者の暮らしを支えていただいておりますが、今日は現場のお話を伺わせていただき、また来年のご要望も伺わせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは都政へのご要望をぜひともお聞かせいただきますよう、お願いいたします。

○東京都社会福祉協議会（島田副会長） 東社協でございます。いつもご支援いただき、ありがとうございます。本日はまず高齢者福祉施設協議会のほうより、令和7年度の予算要望をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○東京都社会福祉協議会（東京都高齢者福祉施設協議会）（田中会長） 会長の田中雅英と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。令和7年度高齢社会対策に関する予算への要望でございます。

まず令和6年度における様々なご支援に心より感謝申し上げます。東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業、東京都の介護職員、介護支援専門員、ケアマネですね、それへの居住支援事業、そして特養等整備費に物価スライド方式を導入していただいたこと、これらの取組みは隣接県がざわつくほど画期的で、厳しい経営状況における我々の経営に非常に大きな力をいただいたと、心から感謝いたします。ありがとうございます。

しかし、現状を要望書に示したとおり、補助金を除くと特別養護老人ホームの64.09%が赤字に陥っているという、厳しい状況が続いております。これを踏まえ、来年度に向けて4点の要望を申し上げます。

1、特別養護老人ホーム経営支援補助金交付制度の予算拡充です。毎年のお願いとなりますが、施設数の増加により、一施設あたりの配分が減少しております。昨年度以上の水準での継続をお願いいたします。

2、介護支援専門員、ケアマネジャーの法定研修時間の削減について、国との協議です。ケアマネ、主任ケアマネともに合格後研修・更新研修時間は記載のとおり、長時間にわたります。主任ケアマネにステップしない、産休・育休後に復職しても更新しないというケースが後を絶ちません。さらに居宅介護支援事業所の管理者が主任ケアマネでなくなると、事業所の収入が大幅に減少します。研修を任意、あるいは研修時間の大幅な見直しをする等、国との協議をお願いいたします。

3、介護職員のキャリアアップ支援の充実です。厚労省の介護プロフェッショナルキャリア段位制度は進展していない現状を踏まえ、東京都独自の評価尺度を用いた昇給支援制度の創設をお願いいたします。

4、介護報酬の基本報酬における人件費率の定義、及び見直しの要望です。介護報酬の改定率が実際の給与費に見合っているか、検証が困難な状況です。実際に支払っている給与費を反映した、適切な基本報酬への見直しを国に要望していただきたく存じます。

何卒これらの要望をご検討いただき、よりよい高齢社会の実現に向けて引き続きご指導とご支援を賜りますよう、お願いいたします。以上でございます。

○司会 どうもありがとうございました。

それではまず、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 先ほど4点のご要望をいただいたところでございます。高齢者が安心して生活できる社会の実現のために、介護職の方々の確保、定着育成、重要でございます。特に来年度は2025年にあたるということもございます。

都は介護福祉士等の資格の取得に必要な経費を補助いたしております他、キャリアパスの導入を含む人材育成の仕組みづくりの支援もいたしております。これからも介護職のさらなる魅力向上に向けて、検討を進めてまいります。

その他ご要望ございましたので、担当局のほうからお答えをしたいと思います。

○司会 それでは山口福祉局長、お願いいたします。

○福祉局 福祉局長の山口です。いつもお世話になっております。私からは3つの点についてお話させていただきます。

まず1つ目が特養の経営支援補助金交付制度の関係でございます。特別養護老人ホームでございますが、在宅の生活が困難な高齢者の生活の場として非常に重要な役割を担っておりまして、利用者サービスの維持向上を図るために、経営支援補助金により施設の取組みを支援しておるところでございます。

補助制度の運用にあたりましては、令和6年度から介護職員の医療対応力向上を加算項目に加える等、施設運用を取り巻く状況変化に応じた見直しを行っているところでございまして、引き続き施設の取組みを適切に支援できるように、必要な対応を図ってまいります。

それから介護支援専門員、ケアマネの研修時間の削減等の関係でございます。ケアマネの資格取得や更新のために必要な研修につきましては、ご承知のとおり国が科目時間数・実施方法等、全国一律の基準で定めている状況でございます。都はこれまで研修のオンライン化や動画の配信、それから主任専門員研修におけます実行要件の見直し等によりまして、負担軽減を図ってきたところでございます。

また、本年4月に国に対しましては質の担保と負担軽減が両立した研修制度への見直しを行うように緊急提言を実施しておりまして、現在国におきまして法定研修の在り方等について議論がされておりますことから、引き続き国に働きかけをしてまいります。

それから最後に介護報酬の基本報酬の見直しについてのお話でございます。介護事業所施設におきましては、事務員等の人件費も含めて介護報酬で賄うこと、これが求められておりますけれども、地域加算の算定において用いる人件費の割合には、事務員等の人件費が今考慮されていない状況でございます。

このため、都は国に対しまして介護報酬における人件費割合の根拠についても明らかにするとともに、介護事業の運営自体を踏まえて適切に見直しを提案要求しているところでございます。私から以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会 会長からお話をいただきましたご要望の点につきまして、東京都としてお答えをさせていただきます。よろしゅうございますか。ありがとうございます。

それではこれもちまして、ヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（東京都社会福祉協議会（東京都高齢者福祉施設協議会） 退室）

○司会 続きまして、東京都社会福祉協議会（保育部会）の皆様でいらっしゃいます。

（東京都社会福祉協議会（保育部会） 入室）

○司会 ありがとうございます。係員がご案内いたします。お席にお進みいただきますよう、お願いいたします。

それでは早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 保育部会の部会長をはじめとする皆様方にお越しいただいております。皆様方によります都政へのご協力・ご理解につきましては、改めて御礼申し上げたいと思います。保育に関する各種研修会・普及活動等を通じて、子どもの健やかな成長のためにご尽力いただいております。

今日は現場のお話、ご要望・ご意見、伺いたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○東京都社会福祉協議会（保育部会） それでは引き続きまして東社協保育部会より、令和7年度の保育の予算について要望させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○東京都社会福祉協議会（保育部会）（下竹部会長） 保育部会長の下竹と申します。本日はよろしくお願いいたします。

まずは小池都知事をはじめ、東京都の皆様方には日頃より保育施策の充実にご尽力くださり、感謝をいたしております。私たち保育所といたしましても、東京の子どもたちの健やかな育ちのため、今後とも保育の質の向上を目指してまいりたいと考えております。

本日は時間の関係上、大きな要望項目として配置基準の問題、定員未充足の問題、保育環境整備の問題の3点を挙げさせていただきました。

まず1つ目の配置基準の問題ですけれども、例えば今回国基準として4、5歳児の保育士の配置基準が76年振りに見直されました。しかし、おかげさまで東京都の保育所の場

合、この基準は既にクリアしている園がほとんどです。さらに昨今は保護者支援の多様化、要支援児の増加、医療的な配慮を必要とする子ども達の受入れ等、質の高い保育を維持するために基準以上の保育士を増配置している園も多くあります。そこでそのように園の努力で職員を増配置し、保育の質を維持している園に対する支援をお願いしたいと思っております。

また、特に市部においては看護師等の専門職に対する保育士並みの処遇改善がなされていないということもあります。栄養士等も含め、全ての専門職に行き渡る処遇改善をお願いいたします。

続いて2点目は定員未充足の問題、つまり定員割れの問題ですけれども、コロナ禍での生み控え・預け控え等の問題もあり、現在つい数年前まで待機児解消で苦しんでいた区部等でも空き定員が増えていきます。

しかし、先ほども申し上げましたように、現在質の高い保育を確保するために基準以上の保育士を増配置している園ほど、昨今の定員未充足による収入減の影響を大きく受けてしまうということもございます。

そこで様々な地域特性に合わせ、安定した保育所運営が可能となるよう、要望いたします。保育士は定員に達していないという状況でも産休・育休明けの職場復帰等に対応するため、利用定員数を確保しておくことが必要です。当然そのためには継続的な職員処遇の維持が不可欠です。安心して職員が働き続けていくことができるためのご支援をお願いいたします。

最後に3点目は保育環境整備の問題ですけれども、これも先ほど来申し上げているように、多様化する保育ニーズに応えていくためには安定した職員集団の維持が欠かせません。そして私たちは職員のライフワークバランスも考え、やりがいを持って毎日働いてほしいと願っています。そのために事務軽減の問題やICT化推進等のご支援を引き続きお願いしたいと思っております。

今回、全体として要望の中心となっているのは、安定した職員集団の定着に関する支援です。昨今の散歩中の置き去りや不適切保育、また保護者支援等、どんどん多様化していく保育ニーズに対応するために、職員が安心して働き続けられ、その中で子どもたちが健やかに育っていくことのできる、そのような保育環境に対するご支援をどうぞ今後ともよろしくお願いいたします。以上、雑駁早口になりましたが、お願いいたします。

○司会 どうもありがとうございました。

それではまず、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 何点かご要望ございました。まず都は零歳児・障害児・アレルギー児等、特に配慮が必要な保育を充実させるということから、保育施設の取組みを独自に支援いたしております。

また、子育て推進交付金等を活用して、各自治体によります保育体制の整備に対しても支援を行っているのはご存知のとおりでございます。

また、保育士以外の専門職の方も含めた処遇改善の取組みを支援するという点、今年度からさらなる拡充を図っているところでございます。今後も保育の質の向上につくまして、取組みを進めていく考えでございまして。

その他のご要望につきましては、担当のほうからお伝えさせていただきます。

○司会 山口福祉局長、お願いいたします。

○福祉局 福祉局長の山口でございます。いつもお世話になっております。私からは2点の点についてお答えをさせていただきます。

まず地域特性に合わせた質の高い子育て・家庭支援の維持発展のところでございますが、都はこれまでも地域の子育て家庭を対象とした保育所の取組みを、独自に支援をしておるところでございます。

また零歳児の空き定員を1歳児の受入れに活用して定員変更を行う取組みや、空きスペースを活用して、在宅子育て家庭の子どもを一時的に受け入れる取組みを支援しているところでございます。

また、安定した運営が図られるように、事業者等の施設整備の負担を軽減する都独自の支援策も実施しているところでございます。引き続き地域の子育て家庭を支える保育所への支援の充実を図ってまいります。

もう1点、保育の質を向上するための環境整備のところでございます。東京都はこれまでも保育士の職場環境の改善に向けまして、保育補助者等の雇用に係る経費を支援しているところでございます。また、保育人材・確保定着のため、保育従事職員宿舍借り上げ支援事業により支援をしているところでございます。

さらにICTの専門人材を活用した業務改善に取り組む区市町村を補助します他、老朽化した備品の更新等に対しても支援を行っているところでございます。今後も保育現場の負担を一層軽減するため、支援の充実を検討してまいります。以上でございます。よろしく申し上げます。

○司会 部会長からお話いただきましたご要望の点につきまして、東京都としてお答えをさせていただきました。よろしゅうございますか。ありがとうございます。

それではこれもちまして、ヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（東京都社会福祉協議会（保育部会） 退室）

○司会 続きまして、日本外航客船協会の皆様でいらっしゃいます。

（日本外航客船協会 入室）

○司会 ありがとうございます。係員がご案内いたします。お席にお進みいただきますよう、お願い申し上げます。

それでは早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 日本外航客船協会の皆様方、日頃からの都政へのご理解・ご協力に対しまして、御礼申し上げたいと思います。

いよいよ、コロナが一段落もしたことも手伝って安全で快適な船旅、クルーズ船等の往来も増えてまいりました。船旅を通じた我が国の魅力発信にもご協力、皆様方のご協力いただいております。

やはりインバウンドが増加するということはすなわち東京の発展を後押しするという点で、大変重要な力でございます。とりわけ世界の富裕層を東京に呼び込むという点で、クルーズ客船の誘致、極めて重要でございます。

今日は今どのような状況にあるのか、現場のお声を伺い、またご意見・ご要望を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは都政へのご要望をぜひともお聞かせいただきますよう、お願いいたします。

○日本外航客船協会（篠原理事長） 日本外航客船協会理事長の篠原でございます。日頃から東京都の皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。

私ども外航クルーズ船、外航フェリーを運航する日本企業の団体でございます。要望書の前文のほうをご覧ください。観光立国推進基本計画、国のほうで決めまして2025年にクルーズ旅客数等をコロナ前に戻すという、そういう目標が設定されたこともございまして、日本の海運会社によるクルーズ船の就航が相次いでございます。

今月、12月1日からは商船三井クルーズのMITSUI OCEAN FUJIという新しい船が導入され、来年夏には郵船クルーズが飛鳥Ⅲを導入いたします。それ以外にも新たに予定している事業者が複数ございますので、これから第二のクルーズ元年というふうな状況になっていくかと存じております。

そのような状況の中、我が国のクルーズの振興に向けまして、東京都様には3点お願いを申し上げたいと思っております。

1点目はクルーズ客船の受入れ体制の強化でございます。今般新たにオープンを予定しておられます晴海ふ頭につきましても、主要ターミナル駅等とのアクセス、あるいはお客様の安全で円滑なご利用に向けての施設整備、体制の整備をぜひお願いしたいと思っております。

2点目は複数バース体制の整備でございます。私どもにとりまして円滑なバースの確保というのがまず大前提、重要な課題でございます。来年6月に晴海ふ頭のクルーズ客船の受入の再開、深く感謝を申し上げる次第でございます。今後も続々とクルーズ船の就航が予定されてございますので、今後の課題になるかとは存じますが、東京国際クルーズふ頭の2バース目の整備等、いろいろとご検討いただければ幸いです。

3点目はインセンティブ補助等の制度についてでございます。私どもにとりましてコストの削減も重要な要素でございます。現在、東京都で実施いただいております支援制度、ぜひご継続をお願いしたいと存じます。

加えまして東京港を船籍とするクルーズ客船について、支援額や支援要件について拡充を図っていただいたことに深く感謝を申し上げつつ、日本籍船が今後外国籍船とも同等の条件下で競争してまいりますので、東京港を船籍港としないクルーズ船も含めまして、支援措置の拡充がお願いできれば大変ありがたいと存じております。以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○司会 どうもありがとうございました。

それではまず、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 では私のほうからまず1点目につきまして、クルーズ船の受入れ態勢の強化についてでございます。

やはり首都東京の玄関口として東京港がより多くのクルーズ客船を受け入れるということで、東京が国際観光都市としての一層の発展につながると考えております。重要なポイントでございます。

都はクルーズ客船の乗船客が都心等の目的地へ円滑に移動できますよう、近隣の主要駅等とターミナルとの間でのシャトルバスを運行いたしているところでございます。今後も晴海ふ頭を含めまして、2つの客船ターミナルをより多くの乗船客に快適にご利用いただけますように、取組みの充実を図ってまいります。

その他のご要望については、担当局からお答えをさせていただきます。

○司会 それでは松川港湾局長、お願いいたします。

○港湾局 それでは2点目につきまして、今年度の東京港へのクルーズ客船の寄港回数につきましては、コロナ禍前の実績を上回った令和5年度を大幅に上回る見込みでございます。

来年6月には東京国際クルーズふ頭に加えて、晴海ふ頭でもクルーズ客船を受け入れる体制になりますことから、複数バース体制の確保につきましては今後の寄港ニーズも見極めながら、必要な対応を検討してまいります。

3点目でございます。入港コストの削減につきましては、クルーズ客船の誘致に向けた重要な課題の1つと認識しております。インセンティブ制度及び客船誘致促進補助制度につきまして、実施による効果等を検証しながら、今度の制度の在り方について検討してまいります。

今後とも日本外航客船協会の皆様と連携し、クルーズ産業の発展に努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会 理事長からお話いただきましたご要望3点につきまして、東京都としてお答えをさせていただきました。よろしゅうございますか。

○日本外航客船協会（篠原理事長） ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

○日本外航客船協会（篠原理事長） よろしく願い申しあげます。ありがとうございました。

○司会 それではこれもちまして、ヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（日本外航客船協会 退室）